

## 防災・避難所機能

- ・災害時の施設開放計画について記載してください。
- ・避難所として開放するスペースが、災害時に速やかに開設・運営が可能であることが分かるように、平常時の活用方法や設置を予定する什器、備品類について記載してください。
- ・避難所として開放すべきスペースから除く箇所について、平面図に記載するとともに、避難所として開放することができない理由・用途についても記載してください。
- ・避難者が避難所へ避難する際の進入経路、動線を記載してください。また、災害時の鍵の開閉等、区役所及び地域との連携方針について記載してください。
- ・地域や関係機関との連携に向けて、平常時から行う防災に関する取り組みについて記載してください。
- ・防災に関してその他の機能を提案される場合は、災害時にどのように貢献できるのかを合わせて、具体的な協力内容や規模等を記載してください。

# 01

## 地域性を踏まえた防災についての考え方

老朽化した住宅や細街路が多く、防災面や住環境面に課題のある「特に優先的な取り組みが必要な密集住宅市街地(優先地区)」が、今里筋以西を中心に区内の1/3を超える範囲に広がっています。

特に生野小学校周辺では、生野区内で最も高齢化が進んでいることもあり、シャッターの下りている商店街や、防災機能に課題のある木造長屋群が点在しており、地域における防災性の向上は特に求められています。

そのような地域性を踏まえた上で、日常的に利用できる学校でありながら、高齢者・外国人などを含めたすべての被災者の命と健康を守る避難所機能が確保された場として小学校跡地が役割を果たしていくべきであると考えます。

災害時における避難所運用において最も大切なことは、平常時の準備をいかに万全に整えられるかです。日常における地域に向けた活動を通して、学校・利用者・地域の方々とのつながりを強化し、学校を拠点にスムーズに相互連携が図れる仕組みづくりを実施します。



# 02

## 事前の準備

### 災害対策の推進

運営開始時点において、学校が災害に強い拠点として常に機能できるよう、防災対策を徹底いたします。

具体的には、非常食や水、非常用トイレ、寝具、炊き出し用具、懐中電灯や携帯用ラジオなどの備蓄品の常設、機器や用具等の落下・転倒防止等の日常的な安全点検の実施、施設特性に合わせ災害時の対応方法を記した防災マニュアルの策定などを実施いたします。

策定したマニュアルおよび年間の防災計画に基づいて、毎月の防災訓練を実施し、職員は有事の際の対応について知識・技能の取得に努めるとともに、必ず振り返りを行い、あげられた課題点については適切に対処ができるよう対策を講じます。

消火避難訓練(年2回)、地震避難訓練(年2回)、大地震児童引き渡し訓練(年1回)、不審者通報訓練(年1回)をそれぞれ実施いたします。また、保育にあたる学年は保育監督基準に基づき月一回の避難訓練を実施します。



## 地域との連携

生野区、まちづくり協議会、地域自治会との会議を定期的に行い、鍵の管理方法や施設への誘導・利用方法について事前に確認を行います。

また利用者や保護者用の災害時対応マニュアルを策定し、災害時の施設との連携の取り方や、施設からの情報発信、区や消防等との連携方法についてわかりやすく周知を行います。

利用者向けマニュアルについては外国語版を整備し、地域の外国人の方もスムーズに対応ができるよう準備をします。

当法人が施設を運営する江戸川区では、管轄の警察署(葛西警察署)と大規模災害時の通訳派遣協定を結んでいます。

先日行われた訓練(映像有)では、負傷した外国人役として外国人教師と通訳を派遣し訓練に参加しました。

生野区においても同様のスキームにて連携ができればと考えております。

# 03

## 避難所としての施設の活用方針

### 避難所としての活用場所および方法

平面図における該当箇所を避難所として開放します。

有事の際には、指定場所を速やかに開放するほか、利用状況や災害の規模などに応じて開放場所は柔軟に検討し、対応にあたります。

開放にあたっては、常勤・非常勤問わず全職員が対応に当たれるよう平時から研修・訓練を実施するほか、近隣在住の弊社社員、まちづくり協議会、区役所等にもスペアキーと簡易な一次対応について共有し、夜間や休日なども即時に対応できるようにいたします。

### その他スペースの活用

B棟1階には、指定スペースとしての備蓄倉庫①以外に備蓄倉庫②を設置します。

より多くの地域の方々が安心して生活できるように、十分な備蓄スペースを確保したいと考えています。

また体育館北側のグラウンドの一部をスクールバス乗り場として舗装する予定です。この部分は災害時の緊急用車両や災害支援車両の駐車場としての活用のほか、生活に必要な仮設施設設置場所としても利用します。

### 避難所として提供する教室の平常時の使用方法

平常時の開所時間においては、インターナショナルスクールの教室として活用します。

設置する備品や機材等は可動式で簡単に動かせるものとし、避難所使用の際にその妨げとならないよう配慮いたします。

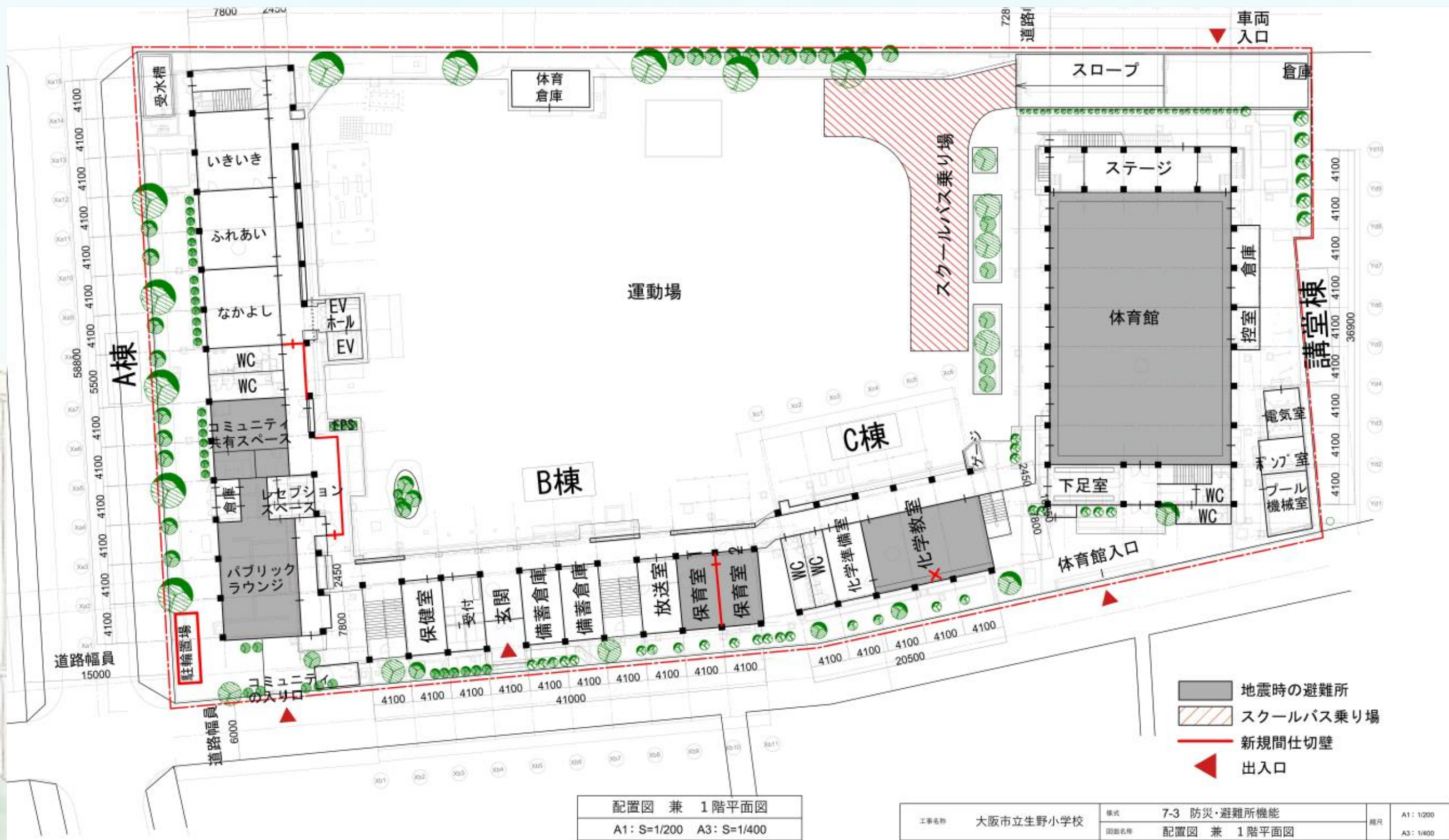
### 避難所として活用できないスペース

- ・保健室(災害時も医療処置機能として働くため)
- ・受付(災害時も人の出入りは想定されるため)
- ・倉庫(備品管理の為)
- ・放送室(機器保護のため)
- ・化学準備室(薬品保護のため)
- ・体育控室(避難場所としての体育館利用の指揮所機能として)
- ・体育倉庫(備品管理の為)
- ・生物準備室(薬品管理の為)
- ・校長室(貴重品保護のため)
- ・職員室(貴重品保護のため)
- ・オフィス(運営中枢機能のための)
- ・アドミッションルーム(運営中枢機能のため)
- ・図書室(災害時も避難者が使える図書室としての蔵書類保護のため)
- ・ITルーム(パソコン機器は災害時避難者達が利用出来る様に保護が必要なため)
- ・アートルーム準備室(備品保護の為)

### 本部としての機能を想定するスペース

B棟1・2階の管理部門は、避難所運営時の一般生活空間としては提供せず、区や消防の要望に応じて運営本部の設置場所として想定を行います。





配置図 兼 1階平面図

A1: S=1/200 A3: S=1/400

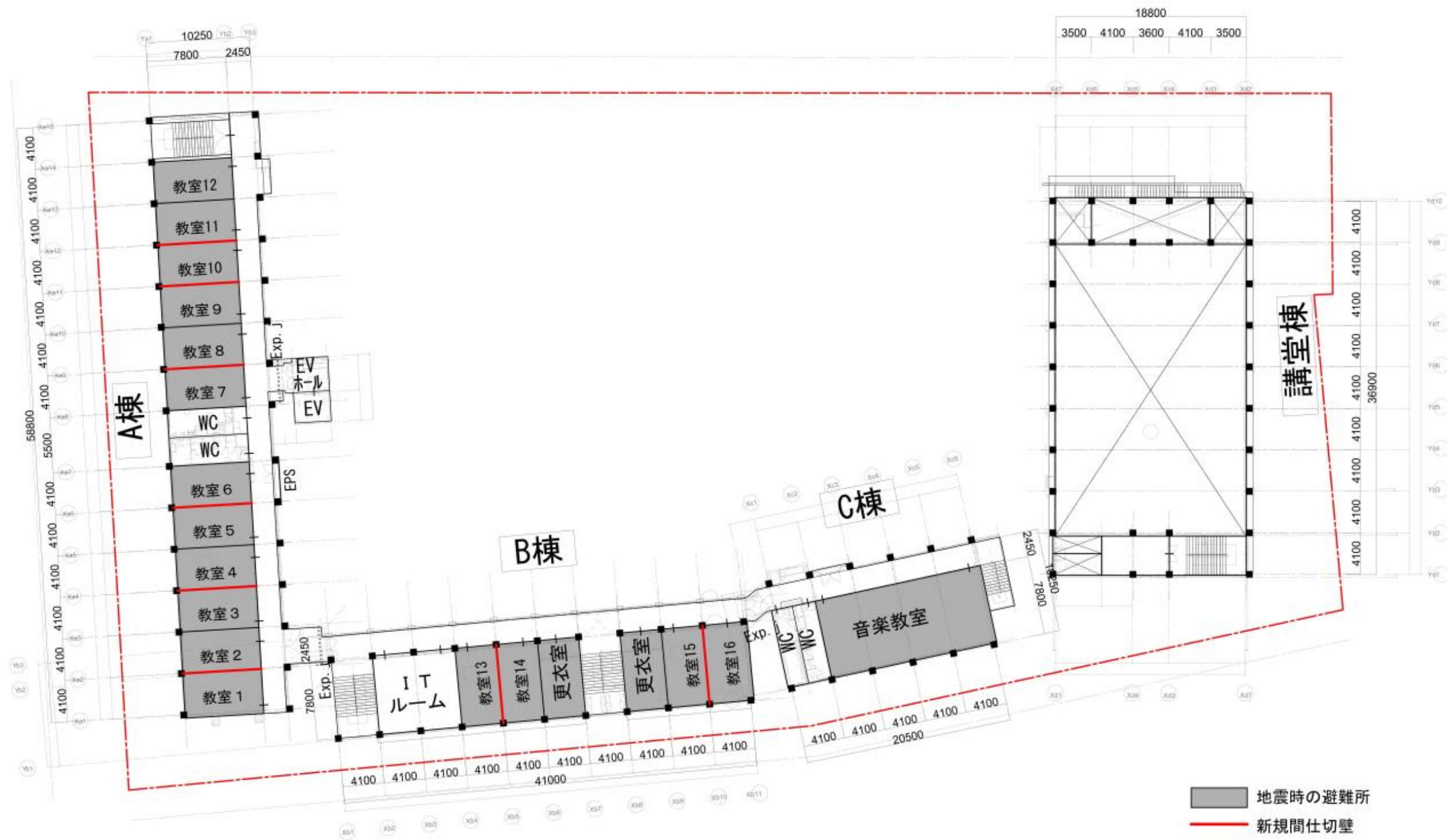
工事名称 大阪市立生野小学校

様式 7-3 防災・避難所機能  
図面名称 配置図 兼 1階平面図

縮尺 A1: 1/200  
A3: 1/400





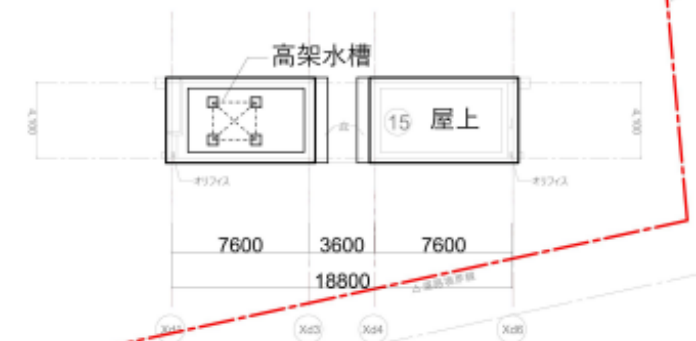
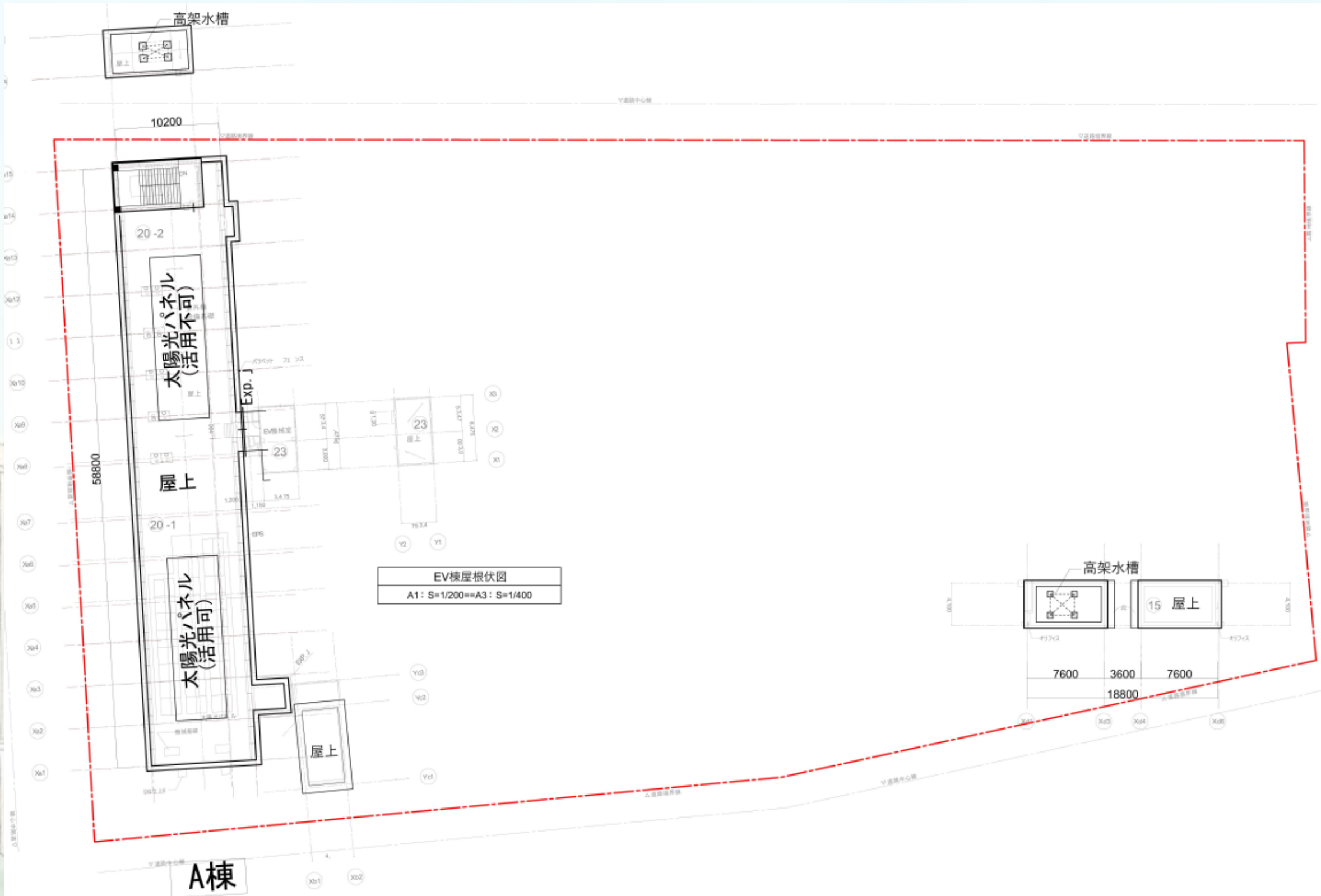


3 階平面図  
A1: S=1/200 A3: S=1/400

|      |           |      |              |    |           |
|------|-----------|------|--------------|----|-----------|
| 工事名称 | 大阪市立生野小学校 | 様式   | 7-3 防災・避難所機能 | 縮尺 | A1: 1/200 |
|      |           | 図面名称 | 3 階平面図       |    | A3: 1/400 |







| 屋上平面図                   |
|-------------------------|
| A1: S=1/200 A3: S=1/400 |

|                   |                    |                              |
|-------------------|--------------------|------------------------------|
| 工事名称<br>大阪市立生野小学校 | 様式<br>7-3 防災・避難所機能 | 縮尺<br>A1: 1/200<br>A3: 1/400 |
|                   | R階平面図              |                              |